

学 習 日 誌

7月 21日 (金)	講 師	東洋大学 大坪 宏至 教授	
出席者数	88名	記 録 者	5年 4班 岩宮正治
講 座 名	社会的課題講座 1 これからの人生どう生きるか -現代社会の課題と生き方、井上円了に触れながら		
プログラム担当者	社会的課題講座チーフ 佐々木邦彦さん		
時 間・場 所	13:30 ~ 15:30 、第一集会室 にて		

【学習内容】

- ・東洋大学の創立者の井上円了師の生い立ちや大学設立の経緯、生きざまについて概略の紹介があった。
- ・人生について、生まれてから死ぬまでの間の客観的捉え方についての説明があった。
- ・人生は幸福を願って生きているが、幸福を感じる「心」を持つ、持てることが重要なポイントとなる。メーテルリンクの青い鳥の話は幸せは分け与えることができることが主題。
- ・幸福を感じるためには、ポジティブに受け取る気持ちが重要で、ネガティブな気持ちにつながらないように努めることが重要である。
- ・心と言う字が入る漢字を思い浮かべるクイズが出され、会場とのやり取りがあった。心と言う字が入る漢字でもポジティブなものやネガティブなものがあるが、ポジティブな意味を持つ漢字に注目して生きてゆくことが重要である。
- ・死に対して生（生まれる）を強調して、生はみんなから喜ばれ・祝福されるが、死は赤ん坊状態に戻ることであるとの認識が示された。生まれたことが死のある原因であるとの事。
- ・人生の間に自分を見つめることが長きにわたることで、自分に関する思い込みが強くなり過ぎることがあるが、平穏な心を獲得するにはあまり課題に執着しないことが大切である。
- ・人生の庭訓として、やってみよう、ありがとう、ありのまま、なんとかなると考える事が重要。
- ・幸は受け取る側の心掛け次第である。
- ・月のクレーターの写真が示されたが、上下逆に切りけると貼りかえると、凹んでいた地形が凸張って見えたが、人生受け取り側のこころの状態でこのようなことの連続であるとの事であった。

【感想】

- ・生死や幸福について短時間で語るのは非常に難しいし、各人の経歴も千差万別なので、受け取り方もいろいろあると思われる。でも各人が各様に理解して、今後の人生に有効に生かすことができれば、価値のあった講座だと思う。

